

AMUSEMENT SQUARE stage

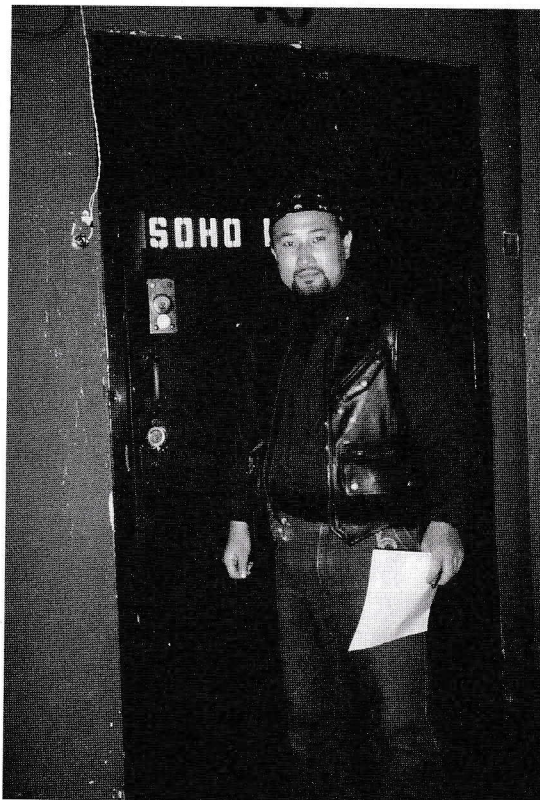
▼ロバート・デ・ニーロが経営するレストラン「トライベッカ・グリル」にてシャラッタ・サンネンシャイ（左）と木村氏のツーショット。シャラッタは通訳役もこなし、今回のニューヨーク公演の会場探しでは、なくてはならない存在だったという。



木村勝一「この名前は、たびたび誌面に登場しているので、ご存知の人もいらっしゃるだろう。北高校の演劇部に入部し、

来年3月にはNY公演が決定 熱い男 木村勝一!!

芝居仲間クレイジージャップ



▲会場となる「ソーホーリッパ-SOHO REP-」の前にて木村勝一氏。来年の3月にはいよいよここでニューヨーク公演が実現!

演劇の世界に目覚め、卒業後上京し「はみだし劇場」に入団。帰郷後、91年には「芝居仲間クレイジージャップ」を旗揚げ。93年には代表作の野外公演「ノックアウトQ」を長者山にて行う。最近ではスペース・ベンを拠点に一人芝居を行い、並行して自主制作である「おいなり映画」「猫だまし映画」にも出演。常に熱い男! 木村勝一。今回はまた随分と大きいことをしでかしてくれた!!

海外公演、しかも場所はニューヨーク!! 木村勝一さんから「来年3月にはNYで海外公演をする」というあま

りにもスケールの大きい話を聞いたときは正直いつて驚いた。「なぜ?」そんな言葉しか浮かばなかった。2月16日(21日(4泊5日))という短い期間でありながら、公演場所を決め、現地のクリエイター達に出会い、とても内容の濃い旅をしてきた木村さんに、さっそく話を聞いてみた。実は海外公演は「芝居仲間クレイジージャップ」を旗揚げした時から考えていたという木村さん。「もともとクレイジージャップは海外公演用につけた名前」という。「結局芝居って自分探しの旅でしょ。やっぱり旅は違う場所で行く、変わっていく自分らが楽しいんだよね。より他の劇団がやれないことを、俺達は挑戦するのが信条。今まで、俳優としても活躍している東京のクレイジージャップのメンバーの洗練されたものと、八戸の泥臭い部分、その互いにいい部分を吸収しあい、切磋琢磨してきて、じゃあ今度何ができるのか? となった時、旗揚げ当初からの夢だった海外公演をNYでやろうということになったんだよね。海外の中でもNYを選んだ訳を「どうせやるなら一番評価の

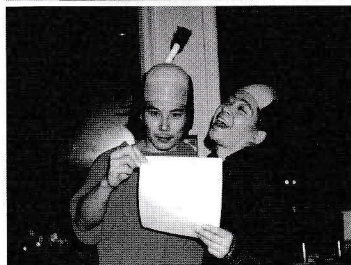
厳しいところで恥をかいてみたいんだよね」という。受け入れやすい土地ではなく、厳しいが正当な評価のある場所。そして演劇を大人のアドルトな遊びとして観に来る観客がいる。木村さんにとってそんな場所で公演ができることが嬉しいのだろう。

今回の旅では、肝心の会場探しはガイドブックを手がかりに、そして現地の人から聞きながらの手探り状態。そんな中で、なくてはならない存在だったのが、シャラッタ・サンネンシャイ。シャラッタは現在住んでいるホームタウンのシアトルからやってきて、木村さんの通訳兼秘書役をこなした。彼女は96年5月のジョイント公演「アン・



▲off-off Broadwayの「ソーホーリッパ-SOHO REP-」近くのショット。倉庫街に行くと、よく映画などの撮影が行われているという。絵になるショットが多い。





〈左上〉「リンカーン・センター」の中にある「ウォルター・リード劇場」でインディペンデント映画を上映した新進女流映画監督のエニードゥ（左）と、監督のたまごのグレッグ（右）。二人はシャラッタの友人でもある。〈左下〉少々酔いがまわっている、坂巻マサ氏（左）と岩切氏。舞台、映画を中心に活動しているニューヨーク在中のアクター。来年3月のNY公演では友情出演予定。〈右下〉写真は米沢こうじ氏。クレイジージャップのメンバーで、俳優として活躍している大門賢二氏からの紹介で知り合いに。この人との出会いは大きいという木村氏。現在米沢氏はペプシのCMを手掛けているスタッフの一人でもある。



アースリーパラダイス」にヒロインとして出演もしている。肝心の会場は、Offoff Broadwayの中でも前衛的で実験的な劇場の「ソーホーリッパ」に決まった。本当はもう少し探そうと思っただが、帰り際にニコルブル支配人に「うちでなくてもいいから、もし公演がある時には絶対行きなす」と言われたことが決定打になった。「なんていうか、誠意が伝わるわけよ。あつ、これは絶対信じれる人かなって。じゃあ賭けてみようかと。それに美人さんだったし笑」と豪快に笑いながら話す。

滞在中は、ロバート・デ・ニーロの経営する「トラベッカ・グリル」で食事をしたり（来年の公演の時にも入り浸る予定だとか）、シャラッタの友人である新進映画監督のエニードゥとグレッグとは上映会の後仲良くなった。また、3月13日に放映された「驚きものの木20世紀」の川上貞奴の生涯を描いた回想シーンで川上音二郎役で出演した「クレイジージャップ」のメンバーで俳優としても活躍している大門賢二氏が、その撮影場所であるNYロケで知り合ったNY在中のアクターの坂巻氏と岩切氏は、来年の公演に友情出演してくれる話になった。そして、NYの第一線で映画・CM等の制作をしている米沢こうじ氏も木村さんに紹介。同い年ということもあって、映画の話で大いに盛り上がった。今度の公演の制作的なことを手伝ってもらう話だとか。今回の収穫は「俺らの芝居は通じる土壌がある」という確信だよ。言葉の問題はあるけども伝えたいことは一緒だ。それにOffoff Broadwayで、始まるつてのが嬉しいね。ゼロから始まる、これこそがクレイジージャップのスタイル！。公演作品は幕末、坂本竜馬。日本人が日本人ということを一意識した変革期。とにかく人間というものをリアルに描きたいという。脚本も木村さんが書き、三浦哲郎さんとの共同演出となる予定。「芝居はLOVEだね、LOVE！」という木村さん。とにかく来年の3月が楽しみだ。

（編集部・NORO）

劇団やませ

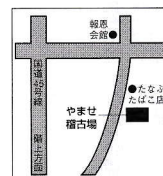
第93回公演 アトリエ公演NO.10
～朗読による劇空間～

賢治の世界 VOL.3

— 私たちと一緒に小岩井農場の辺りを歩いてみませんか？ —

3年前の宮沢賢治生誕百周年のその年に上演し、今回で3回を数える朗読による劇空間「賢治の世界」。今回は小岩井農場にポイントをしばった内容で上演される。

構成／証谷伸夫
演出／加藤健太郎
出演／高橋理恵子、山田尚子、工藤正明、証谷伸夫他
■日程 4月23日～25日
■時間 三日間とも午後7時開演
■場所 劇団やませ稽古場
■料金 大人1000円、学生500円
■取り扱い所 八戸市民劇場事務局、劇団やませ（チケットの郵送もできます。電話で直接劇団やませまでお問い合わせください）



事務局…八戸市鮫町下松苗
場14 ☎33-3850
稽古場…八戸市青葉2-2-13
☎44-8893

4月の

Friday **A**musament **N**egative **S**hop

番組変更の場合もありますので、内容についてはデリー東
北の「あすのメモ」「きょうのメモ」欄でご確認下さい。

■17日 富沢知成'98春の新作発表会 (219回)

歌・ギター／富沢知成 予定曲目／「ずっとずっと大好きだよ」「チョコレートの海辺」「カラス」「なぜ、君だとわかったんだろう」「時のつばさ」「冬の少年」等

長野五輪の閉会式。聖火も消え、祭りも終わろうというその時、大会の感動の全てをいっせいにくべて、再び炎を燃え上がらせたような高揚の時間が、突如訪れた。

「WAになって踊ろう！」

NHKのみんなの歌で初めて聞いたときから好きだった。決して奇をてらわず、特に高度な技術も用いず、簡単な言葉と旋律とリズムだけで、こんなに人の気持ちを前向きにさせるパワー溢れる歌ができるのである。

いつかこういう歌を作りたい。こういう歌とは、ああいうメロディーと歌詞とリズムと編曲を真似した歌、ということではない。そういう歌のつまらなさは、同じくみんなの歌でその後放映され「イーワオー」が証明した。そうではなく、自分の底から発して、あるいは汲み上げて人の底に放り込める、そんな何かをもった歌のことだ。時折のspace BENでの公演は、そんな自分へ至るための中間報告会のようなものだ。（文／富沢知成）

■3日

未定 (217回)

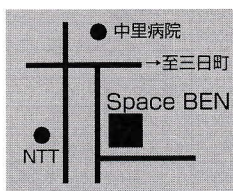
■20日～24日 (4日間公演)
ひまわりVOL.16 (220回)

出演／田中勉

■10日 曾我アコースティック
ライブ (218回)

全7午後7時30分～

料金500円



駐車場はございませんので、車のご来場はご遠慮下さい。
(近くに西町書店駐車場有り)

スペースベン 八戸市柏崎1丁目11-8 ☎FAX43-9876